

3剤型
勢揃い!!

水稲用初・中期一発処理除草剤

忍[®] シノビ

無人航空機散布
が可能

※フロアブル・1キロ粒剤

フロアブル・1キロ粒剤・ジャンボ

忍法 除草の術

其の一 SU抵抗性雑草やノビエ、多年生

カヤツリグサ科雑草まで幅広く効く。

其の二 移植直後からノビエ2・5葉期まで

幅広く使える。

其の三 省力的な田植同時散布が可能。

(フロアブル・1キロ粒剤のみ)

其の四 直播水稲にも使用可能。

主な適用雑草



※剤型、適用作物（移植水稲・直播水稲）によって適用のある草種が異なる場合があります。
詳細は適用内容をご確認ください。

忍フロアブルの適用と使用方法 農林水産省登録 第22501号

【有効成分】
イマズスルフロン…1.8% ビラクロニル…3.9% ペンソピシクロン…3.9%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時 移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	500mL /10a	1回	田植同時散布機で施用
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			原液湛水散布、 水口施用又は 無人航空機による 滴下

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

忍1キロ粒剤の適用と使用方法 農林水産省登録 第22500号

【有効成分】
イマズスルフロン…0.90% ビラクロニル…2.0% ペンソピシクロン…2.0%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植時 移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	1kg/10a	1回	田植同時散布機で施用
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			湛水散布 又は 無人航空機による 散布

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

忍ジャンボの適用と使用方法 農林水産省登録 第22790号

【有効成分】
イマズスルフロン…4.5% ビラクロニル…10.0% ペンソピシクロン…10.0%

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稻	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (200g) /10a	1回	水田に 小包装(パック)のまま 投げ入れる
直播水稻	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	2葉期まで
ヒルムシロ	発生期まで
セリ	再生前から再生始期まで
シズイ	草丈3cmまで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

有効成分の総使用回数(3剤型共通)

イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数	2回以内	ビラクロニルを含む農薬の総使用回数	2回以内	ペンソピシクロンを含む農薬の総使用回数	3回以内
---------------------	------	-------------------	------	---------------------	------

(上記の内容はすべて2019年11月現在の登録内容)

使用上の注意事項

【3剤共通の使用上の注意事項】

- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように使用してください。
- なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に使用するよう注意してください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせ使用してください。
- 直播水稻で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象の場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないようにしてください。
- 移植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 梅雨期等、処理後に多量の降雨が予想される場合には、除草効果が低下することがあるので使用を控えてください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

【フロアブル・1キロ粒剤の使用上の注意事項】

- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態(水深3～5cm)で、まきむらが生じないように均一に散布してください。
- また、極端な浅水や深水での使用は避けてください。
- 使用後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、使用後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かにしてください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および稲作作業は行わないで行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特に注意して行ってください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用を避けてください。
 - 砂質土壌の水田および湛水の大きな水田(湛水深が2cm/日以上)
 - 軟弱な苗を移植した水田
 - 極端な浅植えの水田
- 畜に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください。
- 眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。

【フロアブルの使用上の注意事項】

- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散してください。処理後田面水が通常の湛水状態(水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意してください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ってください。
 - ① 滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ② 滴下に当っては散布装置のノズルを使用しないでください。
 - ③ 作業中、薬液が漏れないように装置の十分な点検を行ってください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

01R11K19S98:ZS

2019年11月作成(全企企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川1丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

